

## 平成23年度 室内環境学会関西支部 活動報告

### ●活動の狙い

関西地域において室内環境に関心を有する研究者や技術者の交流をはかり、室内環境に関わる諸問題について、その研究の発展を促進し、健康で快適な室内環境の創造を目指す。

### ●平成23年度の活動報告

#### 1) 支部体制の変更

東 賢一前支部長が学会副会長に転出したため、支部役員体制の一部変更を行った。平成23年2月3日に開催した支部セミナーで、支部集会を開催し、支部活動に関する意見を集約し、活動の方向性を定めた。

#### 2) 平成22年度関西支部セミナー「室内環境問題の現状と課題」の開催

平成23年2月3日に大阪市立環境科学研究所で行った。参加者：29名

- ・「建築の立場からみた住環境の実態について」阿部弘明氏、中村英人氏（大阪府建築士会シックハウス研究会）は、シックハウス症候群（SHS）発症の原因として、ホルムアルデヒド以外の化学物質が疑われる事例もあることを指摘。また、現場での苦情や症状例を紹介し、どのように対策に取り組んだかについて実例を報告。
- ・「近年の室内環境における健康問題について」圓藤陽子氏（関西労災病院産業中毒センター長）は、SHSが社会問題化してから15年が経過したが、その間の経緯を解析した。さらに、SHSと化学物質過敏症との関係についての議論を紹介。その後、質疑応答を行った。さらに、支部集会、懇親会を行った。
- ・平成24年2月2日に、阪神大震災の経験を踏まえて、平成23年度関西支部セミナー「災害時の室内環境と健康」（仮題）の大阪市立環境科学研究所で開催予定。

### ●関西支部役員名簿（平成23年1月～）

支部長	濱田 信夫（大阪市立環境科学研究所）
副支部長	吉田 俊明（大阪府立公衆衛生研究所）
監事	広瀬 恢（株式会社 日吉）
会計	東 実千代（畿央大学健康科学部）
	東 賢一（近畿大学医学部）